

## 令和3年度 南大沢スマートシティ協議会（第4回） 議事要旨

- 日時：令和4年3月11日（金）10時30分～12時00分
- 開催方式：オンライン会議
- 出席者：委員19名、事務局

### □主な意見

#### <南大沢スマートシティの将来像について>

- 目指す状態の各主体には、地域で活動する住民や南大沢で事業を展開する事業者・施設管理者を含めることが望ましい。
- 手段である先端技術ではなく、まちで活動を行う人を中心とした表現である点が良い。

#### <推進体制について>

- 南大沢は既成市街地として成熟しているため、既存事業者を巻き込んだ組織体の組成が望ましい。
- 都立大学の役割の重要性は共通認識であり、組織体の中での役割を検討する必要がある。

#### <社会実装とサービス企画（案）について>

- 住民と来街者では、地域共通アプリに求める機能が異なるため、利用者の明確化が必要である。また、共通プラットフォームに個人情報が集約可能かを検討する必要がある。
- 地域共通プラットフォームの事業性は、競争領域で価値を持つが、協調領域で整備されるパブリックな情報だけでは不足するため、個人情報の取り扱いも含めた機能要件の具体検討が必要である。
- 各サービスの機能は個別アプリで、コアとなる決済機能と利用者個人のデータ管理機能はワンストップの地域アプリで集約・共通化しても良いと考える。

#### <ロードマップ更新（案）・実現イメージについて>

- 事業継続を目的とした事業体組織の役割、各施策の継続可能性の検証・判断、サービス毎の責任分担を具体的に検討する必要がある。また、地域共通プラットフォームの継続的な運営主体や運営・管理方法について認識の共有を図ることが望ましい。